

報告資料No.3

令和2年8月6日
第2回総合計画審議会資料
総務企画部政策担当

新エネルギービジョンの中間検証について

令和2年8月6日
総務企画部政策担当

1 新エネルギービジョンの中間検証について

- 当市では、平成26年に地域の産業振興や自立分散型エネルギーシステムの構築に向けて、新エネルギーの導入を推進するため、新エネルギービジョンを策定した。
- 令和2年度を当該ビジョンの中間検証年として位置付けていることから、当該ビジョンを確実に推進するため、中間検証を実施した。

■ 中間検証の手法

当該ビジョンに定めた目標の達成状況、施策の実施状況を確認し、当市における新エネルギーの導入に係る成果や課題について確認を行う。

(1) 目標の達成状況

エネルギー消費量に占める**新エネルギーの割合を30%以上**とする目標に対する現状を確認する。

(2) 登載した施策の実施状況

当該ビジョンに登載した3分野37施策と5つのリーディングプロジェクトの実施状況等を確認・評価し、成果や課題を確認する。

施策の評価手法

施策の実施状況により、以下のA～Cに分類した。

- A：実施済 …既に実施済みの事業
- B：実施中 …現在実施しており、今後更に展開を見込む事業
- C：検討中 …実施に向けて検討が必要な事業

< 参考 >

□ 新エネルギービジョンの策定の背景

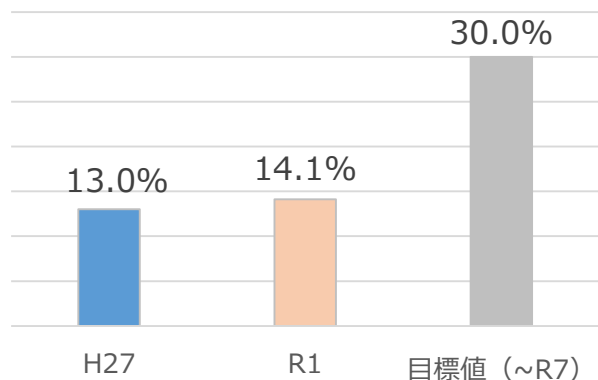
- 東日本大震災による原子力発電所事故により、エネルギー需給バランスが崩れ、計画停電が実施されたこと等から、災害時における対応等を想定し、エネルギー供給体制を大規模集中型から、自立分散型に変化させる必要が生じた。
- 国富流出や温室効果ガス削減等の観点からも、新エネルギーの創造が必要となったことから、平成24年7月には固定価格買取制度が導入される等、再生可能エネルギーへの期待が高まった。
- 当市においても、地域の産業振興や自立分散型エネルギーシステムの構築に向けて、新エネルギーの導入を推進するため、当該ビジョンを策定した。

2

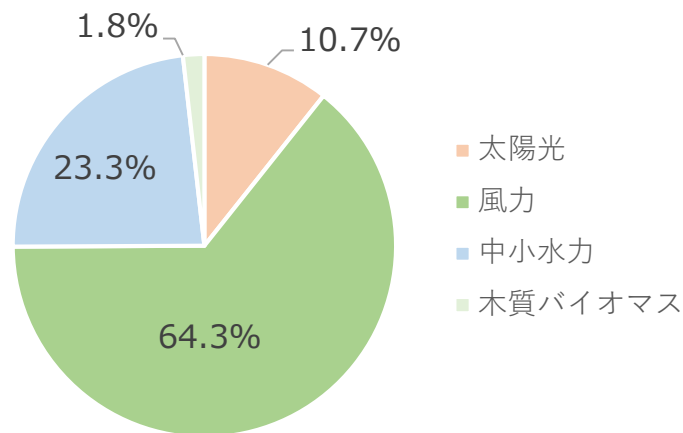
目標の達成状況及び施策の実施状況

(1) 目標の達成状況

エネルギー消費量に占める新エネルギーの導入割合（R2.4現在）



新エネルギーの導入割合（R1）



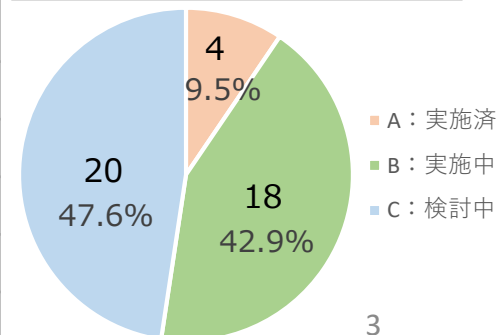
- ・平成27年当時の新エネルギーの導入率 13.0%から、導入割合は5年間で1.1ポイント上昇した。
- ・釜石ウィンドファームの風力発電、水光園等の水力発電が、新エネルギー全体の87.6%を占めている。

(2) 施策の実施状況

登載した施策の約50%を実施し、新エネルギーの導入を推進している。

分野		施策数	A 実施済	B 実施中	C 検討中
施策	再生可能エネルギーを創る施策	20	0	9	11
	省エネルギーの実現に向けた施策	10	3	3	4
	エネルギー施策の普及啓発	7	0	3	4
リーディングプロジェクト		5	1	3	1
計		42	4	18	20

施策の実施状況



3 分野ごとの施策の実施状況

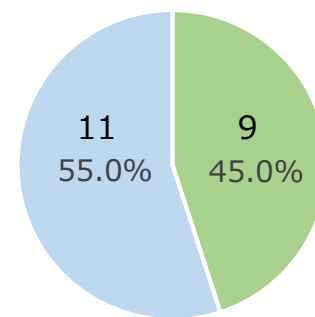
(1) 再生可能エネルギーを創る施策

ア 施策の実施状況

項目	施策数	該当事業
A：実施済	0	
B：実施中	9	No.1 太陽光発電システムの導入促進 No.2 メガソーラー発電事業の適正な導入に向けた環境整備 No.7 薪・ペレットストーブ等の導入促進事業 No.8 木質バイオマスストーブ燃料製造設備事業への設備導入支援 No.9 公共施設への木質バイオマスボイラーの導入 No.13 風力発電の導入促進支援事業 No.14 燃料電池導入助成金の創設 No.16 ヒートポンプ等導入促進 No.17 公営住宅の創・省エネルギー化
C：検討中	11	No.3 市民共同発電制度の創設 No.4 地域が主体となった太陽光発電事業の推進 No.5 太陽熱利用システムの導入促進 No.6 公共施設における太陽熱利用の促進 No.10 バイオガス発電プラントの整備促進 No.11 水光園創エネルギープラント化事業 No.12 小水力発電促進支援事業 No.15 余剰電力水素貯蔵による電力安定供給 No.18 地中熱利用による歩道融雪化 No.19 温度差エネルギーの体験学習 No.20 雪氷エネルギー導入推進に向けた検討



当該分野の施策の実施状況



- A：実施済
- B：実施中
- C：検討中

イ これまで実施した主な施策

施策	施策内容	成果								
No.1 太陽光発電システム等の導入促進事業	住宅における再生可能エネルギー機器の普及促進を目的に、太陽光発電システムの導入に対する支援策を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 住宅に太陽光発電システムを設置した方に、市内で利用可能な商品券で助成するスマートエコライフ推進事業等を実施。 <p>▶スマートエコライフ推進事業助成件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件)</p>	H28	H29	H30	R1	4	4	12	10
H28	H29	H30	R1							
4	4	12	10							
No.2 メガソーラー発電事業の適正な導入に向けた環境整備	大規模太陽光発電施設の事業化に当たっては、適切な地域を選定し、地域との合意を図りながら導入の検討を進めるよう促す。	<ul style="list-style-type: none"> 遠野市景観資源の保全と再生可能エネルギーの活用との調和に関する条例を改正し、再生可能エネルギー事業のうち、特に太陽光発電事業に対する規制を強化。 								
No.7 薪・ペレットストーブ等の導入促進事業	住宅における木質バイオマス利用を促進させるために、薪ストーブ、ペレットストーブ、薪ボイラー等の機器に対する支援策について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 薪ストーブを家庭や事業所に設置した場合、10万円を上限に設置費用の5分の1を市内で利用可能な商品券で助成を実施。 <p>▶薪ストーブ導入への助成件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件)</p>	H28	H29	H30	R1	11	13	6	11
H28	H29	H30	R1							
11	13	6	11							

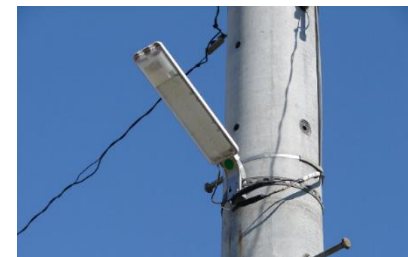
検証概要

○これまで推進することができなかった水素、小水力、バイオガス等の新エネルギーについて、国策等の状況もふまえながら、施策の実施に向けた検討が必要である。

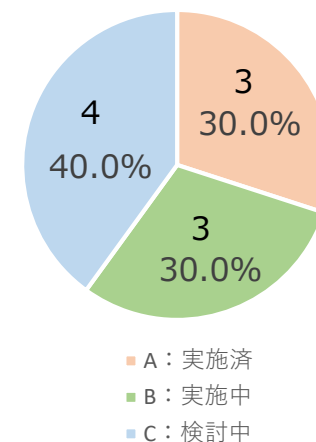
(2) 省エネルギーの実現に向けた施策

ア 施策の実施状況

項目	施策数	該当事業
A：実施済	3	No.22 市内防犯灯LED化 No.25 省エネルギー住宅への改修等助成 No.27 次世代自動車の普及に向けたインフラ整備
B：実施中	3	No.21 商店街街路灯の創・省エネ化 No.24 公共施設の省エネルギー化推進 No.29 次世代自動車導入の促進
C：検討中	4	No.23 電力管理システム導入設置 No.26 高気密・高断熱住宅の開発支援 No.28 次世代自動車の普及促進 No.30 カーボンオフセット協定締結の取り組み



当該分野の施策の実施状況



イ これまで実施した主な施策

施策	施策内容	成果						
No.22 市内防犯灯LED化事業	市内全域に設置する約3,500基の防犯灯についてLED照明への切り替えを検討し、消費電力の削減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年に全3,612灯のLED照明化を実施した。 防犯灯のLED化により、電気料の削減が図られたほか、市民への省エネルギー機器への興味、関心の促進が図られている。 <p>▶市内防犯灯の年間電気料</p> <table border="1" data-bbox="1097 525 1557 629"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16,587</td> <td>11,738</td> <td>5,648</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：千円)</p>	H27	H28	H29	16,587	11,738	5,648
H27	H28	H29						
16,587	11,738	5,648						
No.24 公共施設の省エネルギー化の推進	公共施設等への省エネルギー機器の導入を検討しながら、施設におけるエネルギー利用の省力化及び効率化による運営コストの削減に努める。	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー利用の省力化による運営コストの削減するため、公共施設のLED化を実施した。 省エネルギー化により、運営コストの削減につながっている。 <p>▶LED化済みの公共施設 とぴあ庁舎、本庁舎、健康福祉の里、市民センター</p>						

検証概要

- 省エネルギー化に関する施策は、概ね実施しており、市の運営コストの削減に効果を発揮している。
- カーボンオフセット協定や次世代自動車の普及等については、国策等の要因による機運の盛り上がりを踏まえ施策を推進していく必要がある。

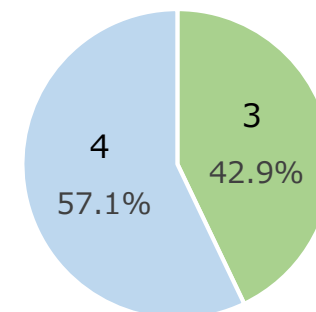
(3) エネルギー施策の普及啓発

ア 施策の実施状況

項目	施策数	該当事業
A：実施済	0	
B：実施中	3	No.32 エネルギー教育の充実 No.35 公共施設における創・省エネルギー機器モデル導入 No.36 省エネルギー普及啓発イベントの企画立案
C：検討中	4	No.31 遠野市省エネルギー大賞の創設 No.33 省エネルギー設備等による実証事業 No.34 事業所における普及啓発 No.37 エネルギー施策推進のための人材育成



当該分野の施策の実施状況



- A：実施済
- B：実施中
- C：検討中

イ これまで実施した主な施策

施策	施策内容	成果
No.35 公共施設における創・省エネルギー機器モデル導入	<p>公共施設整備に際し、創エネルギー・省エネルギー機器の導入を図り、市民が身近に体感することが可能な環境提供に努め、創エネルギー・省エネルギー機器の普及を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎 1 階に、太陽光発電の発電状況をお知らせするディスプレイを整備し、市民の関心を高め、普及啓発を図った。 ・本庁舎の視察受け入れ時には、当該設備の説明を行い周知を図る等、普及を図った。
No.36 省エネルギー普及啓発イベントの企画立案	<p>市民や事業者の省エネルギー意識の向上を目的として、省エネルギーに関するイベントの開催やテレビや新聞等のマスメディア、ホームページ等を活用した普及啓発のための取り組みを実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業まつり等イベントに参加し、ごみの分別や環境保全に係る啓発活動を実施した。

検証概要

- 当該分野は、他の分野と比較し、検討中の施策が多いことから、今後、特に施策を進めていくべき分野である。
- エネルギー施策推進のための人材育成やエネルギー教育の充実といった、エネルギー施策を推進する人材の育成に関する施策に取り組んでいく必要がある。

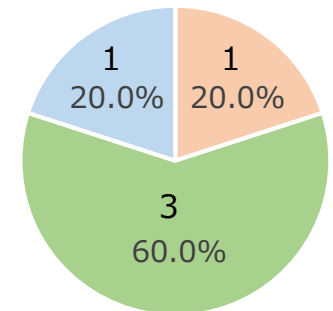
(4) リーディングプロジェクト

ア 施策の実施状況

項目	施策数	該当事業
A : 実施済	1	No. 1 木質バイオマス・サプライチェーン構築プロジェクト
B : 実施中	3	No. 3 防犯灯・街路灯LED化プロジェクト No. 4 次世代自動車普及促進プロジェクト No. 5 新エネルギー・省エネルギーの普及啓発プロジェクト
C : 検討中	1	No. 2 再生可能エネルギー利用の地域還元モデル構築プロジェクト



当該分野の施策の
実施状況



- A : 実施済
- B : 実施中
- C : 検討中

イ これまで実施した主な施策

施策	施策内容	成果										
<p>No.1 木質バイオマス・サプライチェーン構築プロジェクト</p>	<p>市内で発生したおが粉やバーク等の残材を、バイオマスエネルギーとして有効活用することで、地域産業の振興や山林の環境保全を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本庁舎等施設に木質バイオマスボイラー等の設備を導入した。 <ul style="list-style-type: none"> ▶設備の導入状況 <ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマスボイラーを導入した施設：8施設 たかむろ水光園：チップボイラーの導入 木工団地：移動チップターの導入、ストックヤードの建設 大型バークボイラーの試験を実施し、第三者からボイラーの性能の高さについて評価を得たが、活用策については、引き続き検討を必要とする。 										
<p>No.4 次世代自動車普及促進プロジェクト</p>	<p>次世代自動車（電気自動車、プラグインハイブリッド車）の充電インフラの整備や普及啓発を行うことで、環境にやさしい移動手段の確保を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年に市内5施設に急速充電設備を整備し、電気自動車やPHV車の利用普及を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ▶急速充電設備の利用回数 <table border="1" data-bbox="1089 891 1692 993"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>404</td> <td>471</td> <td>879</td> <td>1,373</td> <td>1,657</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回)</p> <p>※5施設（道の駅遠野風の丘、産直ともちゃん、道の駅みやもり、夢産直かみごう、市民センター）の合計</p>	H27	H28	H29	H30	R1	404	471	879	1,373	1,657
H27	H28	H29	H30	R1								
404	471	879	1,373	1,657								

検証概要

- リーディングプロジェクトは、実現性や重要性、波及効果の高い取り組みとして位置付けていることから、5施策を確実に進めていくことが必要である。
- リーディングプロジェクトを進めるに当たっては、地域産業と密接にかかわるエネルギー資源を活用することを前提とし、地域産業の現状や課題を踏まえたうえで、地域産業の振興に資するプロジェクトの実現を目指す。

4

今後の予定

日付	内容
8月4日（火）	遠野市景観資源の保全と再生可能エネルギーの活用との調和に関する審議会への報告
8月6日（木）	遠野市総合計画審議会への報告
8月25日（火）	議員全員協議会への説明、定例記者懇談会での発表、遠野市ホームページでの公表
10月	広報遠野10月号掲載